

平成23年7月25日

関係各位

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター
センター長 入船徹男

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター助教の公募について

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターでは、センター専任教員を下記の要領で公募します。つきましては関係者にご周知いただきますようお願いいたします。

記

- 1 所属： 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター地球物質物性計測部門
- 2 職名および人員： 助教（5年任期、着任後の業績により3年まで延長可） 1名
- 3 専門分野： 地球惑星深部科学あるいは高圧物質科学
- 4 応募資格：
 - (1) 博士の学位を有する方、あるいは平成23年度中に取得見込みの方
 - (2) 高温高圧実験、放射光・中性子実験、物性測定実験、微小領域分析などを中心とした実験分野において研究業績を有し、地球惑星深部科学や高圧物質科学の新たな展開に意欲的な方
- 5 担当業務内容：
 - (1) 地球惑星深部科学あるいは高圧物質科学分野の先端的研究をおこなう。
 - (2) センター内外の研究者との共同研究を推進する。
 - (3) センター設置機器類の保守と取り扱い指導、その他センターの運営に関わる業務をおこなう。
 - (4) 愛媛大学における地球科学関連分野の教育を分担する。
 - (5) センターを中核としたグローバルCOEプログラム、「先進的実験と理論による地球深部物質学拠点」において事業推進に参加する。
- 6 着任時期： 採用決定後なるべく早い時期
- 7 公募締めきり： 平成23年9月30日（金）（当日消印有効）
- 8 提出書類：

- (1) 履歴書（写真添付、Eメールアドレス記入）
- (2) 業績目録および代表的論文5編までの別刷り（コピー可）
- (3) 現在までの研究業績の概要と着任後の研究・教育に関する抱負（それぞれA4で2枚以内）
- (4) 獲得した研究助成金（名称、年度、課題名、金額、代表・分担別）
- (5) 応募者についてご意見をいただける方2名の名前と連絡先

9 書類提出先：

〒790-8577 松山市文京町2-5 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター 入船徹男宛

※郵送等の封筒には、「教員（助教）応募書類在中」と朱書きし、簡易書留とすること。

応募書類は、原則として返却いたしません。

10 問い合わせ先：

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター・センター長 入船徹男

(TEL: 089-927-9645 FAX: 089-927-8167 E-mail: irifune@dpc.ehime-u.ac.jp)

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター・地球物質物性計測部門教授 井上徹

(TEL: 089-927-9658 FAX: 089-927-8167 E-mail: inoue@sci.ehime-u.ac.jp)

11 地球深部ダイナミクス研究センターの概要と構成：

地球深部ダイナミクス研究センターは理学部と工学部を母体として、平成13年4月1日に設置された学内共同研究教育施設です。本センターは下記の（参考）に示す4つの部門からなり、地球深部関連科学分野の先端的研究の推進とともに、学際的・国際的研究活動の展開もめざしています。また、本センターを中核としたグローバルCOEプログラム「先進的実験と理論による地球深部物質学拠点」（平成20年度-平成24年度）では、地球深部物質学における若手研究者の育成にもあたっています。詳細は本センターのホームページ（<http://www.ehime-u.ac.jp/~grc/>）をご参照ください。

愛媛大学では、平成20年度よりテニュアトラック制度に基づき、本センターを含む3つの先端的研究センターなどにおいて研究・教育をすすめる「上級研究員センター」、およびこれらの先端研究センターにおける技術開発や、研究・教育の支援を主要な業務とする「教育研究高度化支援室」を設置しています。また、本センターの地球科学系教員は、下記の理工学研究科および沿岸環境科学研究センターの地球科学系教員とともに、理学部の教育も分担しています。なお、設立後10年を経過した本センターでは、今後のあり方について全学的に検討がなされ、平成23年3月9日付で「あり方委員会」により報告書が提出されています。この中で、本センターの今後の方向性として、高圧物質科学や惑星科学関連分野への展開とともに、全国共同利用・共同研究拠点化を目指すことが推奨されています。

12 付記

選考の過程で、講演をお願いし、面接を行うことがあります。ただし、旅費は原則的に応募者の負担とします。

個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。なお、選考結果をホームページ等で公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。選考は、男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮しておこないます。

(参考)

地球深部ダイナミクス研究センター及び関連部局地球科学系教員(平成23年7月31日現在)

地球深部物質構造動態解析部門

入船徹男(教授)、西山宣正(准教授)、大藤弘明(助教)、丹下慶範(助教)

地球深部活動数値解析部門

土屋卓久(教授)、亀山真典(准教授)、助教(選考中)

地球物質物性計測部門

井上 徹(教授)、松影香子(准教授(COE))、木村正樹(助教)、助教(本公募)

量子ビーム応用部門

平井寿子(教授(COE))、藤野清志(教授(COE))、桑山靖弘(助教)

理工学研究科地球科学系教員

教授：川寄智佑(実験岩石学)、大野一郎(固体地球物理学)、山本明彦(情報地球科学)、榊原正幸(岩石学)

准教授：森 寛志(隕石学)、岡本 隆(古生物学)、皆川鉄雄(鉱物学)、堀 利栄(地質層序学)

助教：楠橋 直(古生物学)

沿岸環境科学研究センター地球科学系教員

教授：磯辺篤彦(海洋物理学)

准教授：郭 新宇(海洋物理学)

助教：板井啓明(環境地球化学)

上級研究員センター・地球深部ダイナミクス研究センター関連教員

上級研究員：西原 遊(高压実験地球科学)

上級研究員：土屋 旬(鉱物物性理論)